

【PLAN】

事務事業の目的と成果

事業名	環境衛生美化推進事業				事業期間	昭和61年度 ～ 年度								
事業性質区分	新規・継続	継続	建設・建設外	建設外	第7期総合計画の位置付け	2-2-1	他に関連する基本事業	—	—	—	—	—	所管課係	市民生活課環境衛生係
目的 (何のために実施するのか)	空き地などの管理が適正に実施されることにより、地域の生活環境が快適に保全されることを目的とする。							手段 (どのような方法で実現するのか)	管理不良状態である空き地の土地所有者に対し、期限を定めて雑草等を除去するよう勧告する。					
対象 (誰・何を対象としているのか)	市民及び市内土地の所有者。							成果 (どのような効果が得られるのか)	市民の環境に対する美化意識の高揚が図られ、清潔で快適な生活環境を形成する。 地域の環境を衛生的に保全する。					
事業開始時の状況・これまでの経緯		昭和61年4月より施行した砂川市空き地管理指導要綱に基づき指導を行っており、町内会に対する調査依頼、市民の通報などに基づく情報提供を受けて現地調査を行い、実態把握を行っている。												

【DO】

実績

(単位：円)

			第1次実施3カ年計画				第2次実施3カ年計画				第3次実施4カ年計画					第7期 総合計画
			第1年次 (3年度)	第2年次 (4年度)	第3年次 (5年度)	実施3カ年 合計	第4年次 (6年度)	第5年次 (7年度)	第6年次 (8年度)	実施3カ年 合計	第7年次 (9年度)	第8年次 (10年度)	第9年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施4カ年 合計	
投入された事業費の推移	国費	計画額				0				0					0	0
		予算計上額				0				0					0	0
		実績額				0				0					0	0
	道費	計画額				0				0					0	0
		予算計上額				0				0					0	0
		実績額				0				0					0	0
	地方債	計画額				0				0					0	0
		予算計上額				0				0					0	0
		実績額				0				0					0	0
	その他	計画額				0				0					0	0
		予算計上額				0				0					0	0
		実績額				0				0					0	0
	一般財源	計画額	37,000	37,000	37,000	111,000	110,000	110,000	110,000	330,000	110,000	110,000	110,000	110,000	440,000	881,000
		予算計上額	110,000	110,000	110,000	330,000	110,000	110,000	110,000	330,000					0	660,000
		実績額	82,996	106,320	106,337	295,653	97,608	104,377		201,985					0	497,638
	事業費合計	計画額	37,000	37,000	37,000	111,000	110,000	110,000	110,000	330,000	110,000	110,000	110,000	110,000	440,000	881,000
予算計上額		110,000	110,000	110,000	330,000	110,000	110,000	110,000	330,000	0	0	0	0	0	660,000	
実績額		82,996	106,320	106,337	295,653	97,608	104,377	0	201,985	0	0	0	0	0	497,638	
事業費予算の内容		消耗品費 印刷製本費	消耗品費 印刷製本費	消耗品費 印刷製本費		消耗品費 印刷製本費	消耗品費 印刷製本費	消耗品費 印刷製本費								
前年度予算との比較 (増減理由)		前年同額	前年同額	前年同額		増減なし	増減なし	増減なし								
実績との比較 (増減理由)		執行減による	執行減による	執行減による		執行減による	執行減による									

【CHECK・ACTION】

指標の推移・評価

活動指標 1（「手段」をもとに設定）				指標名：管理不良な空き地の勧告件数				指標の求め方：管理不良な空き地の所有者に雑草の処理を勧告した件数									
成果指標 1（「成果」をもとに設定）				指標名：勧告に対する雑草処理の割合				指標の求め方：勧告した件数に対し、雑草が処理された件数の割合									
				第 1 次実施 3 力年計画				第 2 次実施 3 力年計画				第 3 次実施 4 力年計画					第 7 期 総合計画
				第 1 年次 (3年度)	第 2 年次 (4年度)	第 3 年次 (5年度)	実施 3 力年 合 計	第 4 年次 (6年度)	第 5 年次 (7年度)	第 6 年次 (8年度)	実施 3 力年 合 計	第 7 年次 (9年度)	第 8 年次 (10年度)	第 9 年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施 4 力年 合 計	
事業 評価	指標	活動指標 1 (単位/件)	計画値	30	30	30		30	30	30		30	30	30	30		
		実績値	26	38	43		41	46									
	成果指標 1 (単位/%)	計画値	62	64	66		68	70	72		74	76	78	80			
		実績値	69	75	67		53	40									
	評価内容	事業の達成度 (活動指標をもとに評価)				達成されている				達成されている							
		事業の成果 (成果指標をもとに評価)				少し上がっている				少し上がっている							
		事業の効率性 (事業費に対する成果)				変わらない				変わらない							
		総合評価				良好である				良好である							
		総合評価の判断理由 または指標の実績値に関する 自己分析	自己分析： 町内会へ依頼した空き地管理調査等を基に現地の調査を行い、管理不良の空き地の所有者に対し雑草処理の依頼文書を送付し、草刈りが実施された空き地の割合は前年度を上回った。今後も未実施の所有者に対しさらに早期に依頼していく。	自己分析： 町内会へ依頼した空き地管理調査等を基に現地の調査を行い、管理不良の空き地の所有者に対し雑草処理の依頼文書を送付し、草刈りが実施された空き地の割合は前年度を上回った。今後も未実施の所有者に対しさらに早期に依頼していく。	自己分析： 町内会へ依頼した空き地管理調査等を基に現地の調査を行い、管理不良の空き地の所有者に対し雑草処理の依頼文書を送付し、草刈りが実施された空き地の割合は前年度を下回った。今後も未実施の所有者に対しさらに早期に依頼していく。	判断理由： 砂川市衛生組合や各町内会と連携しながら活動を行い、市内の環境美化に一定の成果を上げていることから良好と判断した。	自己分析： 町内会へ依頼した空き地管理調査等を基に現地の調査を行い、管理不良の空き地の所有者に対し雑草処理の依頼文書を送付し、草刈りが実施された空き地の割合は前年度を下回った。今後も未実施の所有者に対しさらに早期に依頼していく。	自己分析： 町内会へ依頼した空き地管理調査等を基に現地の調査を行い、管理不良の空き地の所有者に対し雑草処理の依頼文書を送付し、草刈りが実施された空き地の割合は前年度を下回った。今後も未実施の所有者に対しさらに早期に依頼していく。	自己分析： 町内会へ依頼した空き地管理調査等を基に現地の調査を行い、管理不良の空き地の所有者に対し雑草処理の依頼文書を送付し、草刈りが実施された空き地の割合は前年度を下回った。今後も未実施の所有者に対しさらに早期に依頼していく。	判断理由： 砂川市衛生組合や各町内会と連携しながら活動を行い、市内の環境美化に一定の成果を上げていることから良好と判断した。	自己分析： 町内会へ依頼した空き地管理調査等を基に現地の調査を行い、管理不良の空き地の所有者に対し雑草処理の依頼文書を送付し、草刈りが実施された空き地の割合は前年度を上回った。今後も未実施の所有者に対しさらに早期に依頼していく。	自己分析： 町内会へ依頼した空き地管理調査等を基に現地の調査を行い、管理不良の空き地の所有者に対し雑草処理の依頼文書を送付し、草刈りが実施された空き地の割合は前年度を上回った。今後も未実施の所有者に対しさらに早期に依頼していく。	自己分析： 町内会へ依頼した空き地管理調査等を基に現地の調査を行い、管理不良の空き地の所有者に対し雑草処理の依頼文書を送付し、草刈りが実施された空き地の割合は前年度を下回った。今後も未実施の所有者に対しさらに早期に依頼していく。	自己分析： 町内会へ依頼した空き地管理調査等を基に現地の調査を行い、管理不良の空き地の所有者に対し雑草処理の依頼文書を送付し、草刈りが実施された空き地の割合は前年度を下回った。今後も未実施の所有者に対しさらに早期に依頼していく。	判断理由： 砂川市衛生組合や各町内会と連携しながら活動を行い、市内の環境美化に一定の成果を上げていることから良好と判断した。		
今後の方向性					現状のまま継続				現状のまま継続								
方向性の判断理由 改善、改革の内容 (R5、R8、R10)		R5： 砂川市衛生組合や各町内会と連携しながら当事業を実施しており、市内の環境美化に一定の成果をあげていることから今後も当事業の継続は必要であると判断される。				R8： 砂川市衛生組合や各町内会と連携しながら当事業を実施しており、市内の環境美化に一定の成果をあげていることから今後も当事業の継続は必要であると判断される。				R10：							

第 7 期 総 合 計 画 事 務 事 業 進 行 管 理 調 書

【PLAN】

事務事業の目的と成果

総合戦略掲載	×	過疎計画掲載	×
--------	---	--------	---

事業名		衛生組合支援事業				事業期間	昭和33年度 ～ 年度								
事業性質区分	新規・継続	継続	建設・建設外	建設外	第7期総合計画の位置付け	2-2-1	他に関連する基本事業	6-1-1	-	-	-	-	所管課係	市民生活課環境衛生係	
目的 (何のために実施するのか)	6 2 町内会の衛生支部長で構成される砂川市衛生組合を支援することで、行政と市民の協働が図られ、地域の環境美化につながる。							手段 (どのような方法で実現するのか)	河川清掃、道路清掃などのボランティア活動を支援する。						
対象 (誰・何を対象としているのか)	砂川市衛生組合（6 2 町内会の衛生支部長で構成）。							成果 (どのような効果が得られるのか)	市民の自主活動により地域の環境美化が向上する。						
事業開始時の状況・これまでの経緯		町内会衛生組織の実践活動を推進している砂川市衛生組合に対して、運営費の一部を補助している。													

【DO】

実績

(単位：円)

				第1次実施3カ年計画				第2次実施3カ年計画				第3次実施4カ年計画					第7期 総合計画 計
				第1年次 (3年度)	第2年次 (4年度)	第3年次 (5年度)	実施3カ年 合 計	第4年次 (6年度)	第5年次 (7年度)	第6年次 (8年度)	実施3カ年 合 計	第7年次 (9年度)	第8年次 (10年度)	第9年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施4カ年 合 計	
投入された事業費の推移	国	費	計画額				0				0					0	0
			予算計上額				0				0					0	0
			実績額				0				0					0	0
	道	費	計画額				0				0					0	0
			予算計上額				0				0					0	0
			実績額				0				0					0	0
	地方債		計画額				0				0					0	0
			予算計上額				0				0					0	0
			実績額				0				0					0	0
	その他		計画額				0				0					0	0
			予算計上額				0				0					0	0
			実績額				0				0					0	0
	一般財源		計画額	337,000	337,000	337,000	1,011,000	383,000	383,000	383,000	1,149,000	383,000	383,000	383,000	383,000	1,532,000	3,692,000
			予算計上額	337,000	337,000	368,000	1,042,000	383,000	416,000	436,000	1,235,000					0	2,277,000
			実績額	337,000	337,000	368,000	1,042,000	382,375	216,000		598,375					0	1,640,375
	事業費合計		計画額	337,000	337,000	337,000	1,011,000	383,000	383,000	383,000	1,149,000	383,000	383,000	383,000	383,000	1,532,000	3,692,000
			予算計上額	337,000	337,000	368,000	1,042,000	383,000	416,000	436,000	1,235,000	0	0	0	0	0	2,277,000
			実績額	337,000	337,000	368,000	1,042,000	382,375	216,000	0	598,375	0	0	0	0	0	1,640,375
	事業費予算の内容			衛生組合補助金 パンケ歌志内川 清掃委託料	衛生組合補助金 パンケ歌志内川 清掃委託料	衛生組合補助金 パンケ歌志内川 清掃委託料		衛生組合補助金 パンケ歌志内川 清掃委託料	衛生組合補助金 パンケ歌志内川 清掃委託料	衛生組合補助金 パンケ歌志内川 清掃委託料							
	前年度予算との比較 (増減理由)			前年同額	前年同額	パンケ歌志内川 清掃委託料の増		パンケ歌志内川 清掃委託料の増	パンケ歌志内川 清掃委託料の増	パンケ歌志内川 清掃委託料の増							
	実績との比較 (増減理由)			同額	同額	同額		見積合わせによる減	パンケ歌志内川 清掃の中止による減								

【CHECK・ACTION】

指標の推移・評価

活動指標 1（「手段」をもとに設定）			指標名：衛生組合美化活動回数				指標の求め方：衛生組合美化活動の回数									
成果指標 1（「成果」をもとに設定）			指標名：美化活動参加者数				指標の求め方：美化活動延人数									
			第 1 次実施 3 力年計画				第 2 次実施 3 力年計画				第 3 次実施 4 力年計画					第 7 期
			第 1 年次 (3年度)	第 2 年次 (4年度)	第 3 年次 (5年度)	実施 3 力年 合 計	第 4 年次 (6年度)	第 5 年次 (7年度)	第 6 年次 (8年度)	実施 3 力年 合 計	第 7 年次 (9年度)	第 8 年次 (10年度)	第 9 年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施 4 力年 合 計	總 合 計 画 合 計
事業 評価	指 標	活動指標 1 (単位/回)	計画値 4	4	4		4	4	4		4	4	4	4		
		実績値 3	4	3		4	4									
	指 標	成果指標 1 (単位/人)	計画値 220	220	230		230	240	240		250	250	260	260		
		実績値 194	240	200		255	113									
	評 価 内 容	事業の達成度 (活動指標をもとに評価)					達成されている				達成されている					
		事業の成果 (成果指標をもとに評価)					少し上がっている				少し上がっている					
		事業の効率性 (事業費に対する成果)					変わらない				変わらない					
		総合評価					良好である				良好である					
		総合評価の判断理由または指標の実績値に関する自己分析	自己分析： 砂川市衛生組合の事業予算の範囲内で計画に基づいた事業が実施された。各事業には町内会の衛生支部長や各種団体から多くの参加があり、活発な環境美化活動になっているが、春季飛散ごみ回収や各種会議が新型コロナウイルスの影響により中止となり、参加者が昨年と比べ減少した。	自己分析： 砂川市衛生組合の事業予算の範囲内で計画に基づいた事業が実施された。各事業には町内会の衛生支部長や各種団体から多くの参加があり、活発な環境美化活動になっているが新型コロナウイルスの影響による中止が無くなり、参加者が昨年と比べ増加した。	自己分析： 砂川市衛生組合の事業予算の範囲内で計画に基づいた事業が実施された。各事業には町内会の衛生支部長や各種団体から多くの参加があり、活発な環境美化活動になっているが、秋季ごみ拾いが北光公園でのヒグマ出没により中止になり、参加者が昨年と比べ減少した。	判断理由： 砂川市衛生組合は、砂川市の清掃美化活動の中心を担っている組織であり、数多くの事業をボランティアで実施し、市内の環境美化に多大な貢献がある事から良好と判断した。	自己分析： 砂川市衛生組合の事業予算の範囲内で計画に基づいた事業が実施された。各事業には町内会の衛生支部長や各種団体から多くの参加があり、活発な環境美化活動になっている。	自己分析： 砂川市衛生組合の事業予算の範囲内で計画に基づいた事業が実施された。例年 7 月に行っているパンケ歌志内川清掃を熊出没により中止としたため、美化活動延人数が大幅に減少した。その他の各事業については町内会の衛生支部長や各種団体から多くの参加があり、活発な環境美化活動になっている。	自己分析： 砂川市衛生組合は、砂川市の清掃美化活動の中心を担っている組織であり、数多くの事業をボランティアで実施し、市内の環境美化に多大な貢献がある事から良好と判断した。	自己分析： 自己分析： 自己分析：	判断理由： 砂川市衛生組合は、砂川市の清掃美化活動の中心を担っている組織であり、数多くの事業をボランティアで実施し、市内の環境美化に多大な貢献がある事から良好と判断した。					
			今後の方向性					現状のまま継続				現状のまま継続				
	方向性の判断理由改善、改革の内容 (R5、R8、R10)		R5： 砂川市衛生組合は市民が自主的に砂川市の清掃美化活動の中心を担っている組織であり、実施している事業は市内の環境美化に多大な貢献がある事から補助金交付の継続が必要である。				R8： 砂川市衛生組合は市民が自主的に砂川市の清掃美化活動の中心を担っている組織であり、実施している事業は市内の環境美化に多大な貢献がある事から補助金交付の継続が必要である。				R10：					

第 7 期 総 合 計 画 事 務 事 業 進 行 管 理 調 書

【PLAN】

事務事業の目的と成果

総合戦略掲載	×	過疎計画掲載	×
--------	---	--------	---

事業名	不法投棄防止対策事業				事業期間	平成13年度 ～ 年度								
事業性質区分	新規・継続	継続	建設・建設外	建設外	第7期総合計画の位置付け	2-2-1	他に関連する基本事業	2-1-1	—	—	—	—	所管課係	市民生活課環境衛生係
目的 (何のために実施するのか)	不法投棄の抑制はもとより、不法に投棄された家電等を回収し、環境美化につなげる。							手段 (どのような方法で実現するのか)	不法投棄抑制のための啓発活動の実施、監視カメラを設置し警察との連携強化を図る。 また、回収した不法投棄家電等の適正処分を行う。					
対象 (誰・何を対象としているのか)	不法投棄排出者及び不法投棄物。							成果 (どのような効果が得られるのか)	不法投棄の減少、環境美化。					
事業開始時の状況・これまでの経緯	(旧不法投棄家電対策事業) 資源の有効活用を図るため、平成13年4月から家電リサイクル法が施行されたが、日常生活の中で排出される廃棄物の不法投棄が後を絶たない状況となってきた。													

【DO】

実績

(単位：円)

			第1次実施3カ年計画				第2次実施3カ年計画				第3次実施4カ年計画					第7期 総合計画 計
			第1年次 (3年度)	第2年次 (4年度)	第3年次 (5年度)	実施3カ年 合 計	第4年次 (6年度)	第5年次 (7年度)	第6年次 (8年度)	実施3カ年 合 計	第7年次 (9年度)	第8年次 (10年度)	第9年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施4カ年 合 計	
投入された事業費の推移	国費	計画額				0				0					0	0
		予算計上額				0				0					0	0
		実績額				0				0					0	0
	道費	計画額				0				0					0	0
		予算計上額				0				0					0	0
		実績額				0				0					0	0
	地方債	計画額				0				0					0	0
		予算計上額				0				0					0	0
		実績額				0				0					0	0
	その他	計画額				0				0					0	0
		予算計上額				0				0					0	0
		実績額				0				0					0	0
	一般財源	計画額	1,153,000	1,150,000	1,147,000	3,450,000	1,304,000	1,304,000	1,304,000	3,912,000	1,304,000	1,304,000	1,304,000	1,304,000	5,216,000	12,578,000
		予算計上額	1,153,000	1,160,000	1,370,000	3,683,000	1,326,000	1,399,000	1,495,000	4,220,000					0	7,903,000
		実績額	974,709	1,156,074	1,260,864	3,391,647	1,058,365	1,379,175		2,437,540					0	5,829,187
	事業費合計	計画額	1,153,000	1,150,000	1,147,000	3,450,000	1,304,000	1,304,000	1,304,000	3,912,000	1,304,000	1,304,000	1,304,000	1,304,000	5,216,000	12,578,000
		予算計上額	1,153,000	1,160,000	1,370,000	3,683,000	1,326,000	1,399,000	1,495,000	4,220,000	0	0	0	0	0	7,903,000
		実績額	974,709	1,156,074	1,260,864	3,391,647	1,058,365	1,379,175	0	2,437,540	0	0	0	0	0	5,829,187
	事業費予算の内容	環境業務員報酬 期末手当 費用弁償 不法投棄物処理 手数料	環境業務員報酬 期末手当 費用弁償 不法投棄物処理 手数料	環境業務員報酬 期末手当 費用弁償 不法投棄物処理 手数料			環境業務員報酬 期末勤勉手当 費用弁償 不法投棄物処理 手数料	環境業務員報酬 期末勤勉手当 費用弁償 不法投棄物処理 手数料	環境業務員報酬 期末勤勉手当 費用弁償 不法投棄物処理 手数料							
		前年度予算との比較 (増減理由)	環境業務員に関する経費の増額	不法投棄物処理単価の増	環境業務員に関する経費の増額		不法投棄物処理手数料の精査による減	環境業務員に関する経費の増額	環境業務員に関する経費の増額							
		実績との比較 (増減理由)	環境業務員の變更に伴う報酬額の減、不法投棄物の業者引き渡し実績なしによる減額	環境業務員の變更に伴う報酬額の減	不法投棄物の業者引き渡しが予定数より少なかったことによる減額		不法投棄物の業者引き渡しが予定数より少なかったことによる減額	不法投棄物の業者引き渡しが予定数より少なかったことによる減額								

【CHECK・ACTION】

指標の推移・評価

活動指標 1（「手段」をもとに設定）	指標名：巡回パトロール実施日数	指標の求め方：巡回パトロールを実施した日数
成果指標 1（「成果」をもとに設定）	指標名：不法投棄物回収量	指標の求め方：不法投棄物を回収した量

			第1次実施3カ年計画				第2次実施3カ年計画				第3次実施4カ年計画					第7期 総合計画
			第1年次 (3年度)	第2年次 (4年度)	第3年次 (5年度)	実施3カ年 合計	第4年次 (6年度)	第5年次 (7年度)	第6年次 (8年度)	実施3カ年 合計	第7年次 (9年度)	第8年次 (10年度)	第9年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施4カ年 合計	
事業 評価	指標	活動指標 1 (単位/日)	計画値 140	140	140		140	140	140		140	140	140	140		
			実績値 140	140	140		140	140								
	成果指標 1 (単位/kg)	計画値	4,000	3,900	3,800		3,700	3,600	3,500		3,400	3,300	3,200	3,100		
		実績値	1,270	2,660	1,250		1,120	1,310								
	評価内容	事業の達成度 (活動指標をもとに評価)				達成されている				達成されている						
		事業の成果 (成果指標をもとに評価)				少し上がっている				少し上がっている						
		事業の効率性 (事業費に対する成果)				変わらない				変わらない						
		総合評価				普通である				普通である						
			自己分析： 監視カメラや不法投棄禁止の看板の設置や効果的な監視パトロールの実施等を引き続き行い、不法投棄防止対策の強化を図る予定である。	自己分析： 監視カメラや不法投棄禁止の看板の設置や効果的な監視パトロールの実施等を引き続き行い、不法投棄防止対策の強化を図る予定である。	自己分析： 監視カメラや不法投棄禁止の看板の設置や効果的な監視パトロールの実施等を引き続き行い、不法投棄防止対策の強化を図る予定である。	判断理由： 不法投棄物の回収及び処理は適正に行われている事から普通と判断したが、家電の投棄件数は減少傾向にあるものの根絶することは難しいと思われるので、引き続き対策が必要である。	自己分析： 監視カメラや不法投棄禁止の看板の設置や効果的な監視パトロールの実施等を引き続き行い、不法投棄防止対策の強化を図る予定である。	自己分析： 監視カメラや不法投棄禁止の看板の設置や効果的な監視パトロールの実施等を引き続き行い、不法投棄防止対策の強化を図る予定である。	自己分析： 監視カメラや不法投棄禁止の看板の設置や効果的な監視パトロールの実施等を引き続き行い、不法投棄防止対策の強化を図る予定である。	判断理由： 不法投棄物の回収及び処理は適正に行われている事から普通と判断した。 また、家電の投棄件数はほぼ変化なく少ない件数で推移しているものの根絶することは難しいと思われるので、引き続き対策が必要である。	自己分析：	自己分析：	自己分析：	自己分析：	判断理由：	
		今後の方向性				現状のまま継続				現状のまま継続						
	方向性の判断理由 改善、改革の内容 (R5、R8、R10)		R5： 不法投棄が大きく減少しない状況であることから、監視カメラや防止看板の設置箇所や数について検討を続けて行い、不法投棄抑制に向けて常に対策していくことが必要である。				R8： 不法投棄が大きく減少しない状況であることから、監視カメラや防止看板の設置箇所や数について検討を続けて行い、不法投棄抑制に向けて常に対策していくことが必要である。				R10：					

第 7 期 総 合 計 画 事 務 事 業 進 行 管 理 調 書

【PLAN】

事務事業の目的と成果

事業名	墓地維持管理事業				事業期間	昭和47年度 ～ 年度								
事業性質区分	新規・継続	新規(掲載)	建設・建設外	建設外	第7期総合計画 の位置付け	2-2-2	他に関連する 基本事業	—	—	—	—	—	所管課係	市民生活課環境衛生係
目的 (何のために実施する のか)	墓地を適正に管理し、利用しやすい環境づくりを行う。							手段 (どのような方法で 実現するのか)	通路や側溝の補修、樹木選定など墓地内の環境整備を図るとともに、返還区画等の整理を進め、利用しやすい環境づくりを行う。					
対象 (誰・何を対象として いるのか)	墓地区画利用者							成果 (どのような効果が 得られるのか)	新規使用許可区画数の増加					
事業開始時の状況・これまでの経緯	砂川市の墓地については北吉野墓地の区画整備を随時行い、5,025区画、合同墓（1,500体収容）1基の規模となっており、周辺設備については区画整備工事に伴って新設している。維持管理については清掃管理委託でシルバー人材センターが行っている。													

【DO】

実績

(単位：円)

			第1次実施3カ年計画				第2次実施3カ年計画				第3次実施4カ年計画					第 7 期 総 合 計 画 合 計
			第1年次 (3年度)	第2年次 (4年度)	第3年次 (5年度)	実施3カ年 合 計	第4年次 (6年度)	第5年次 (7年度)	第6年次 (8年度)	実施3カ年 合 計	第7年次 (9年度)	第8年次 (10年度)	第9年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施4カ年 計	
投 入 さ れ た 事 業 費 の 推 移	国 費	計 画 額				0				0					0	0
		予算計上額				0				0					0	0
		実 績 額				0				0					0	0
	道 費	計 画 額				0				0					0	0
		予算計上額				0				0					0	0
		実 績 額				0				0					0	0
	地 方 債	計 画 額				0				0					0	0
		予算計上額				0				0					0	0
		実 績 額				0				0					0	0
	そ の 他	計 画 額				0				0					0	0
		予算計上額				0				0					0	0
		実 績 額				0				0					0	0
	一 般 財 源	計 画 額	2,864,000	4,867,000	2,864,000	10,595,000	3,388,000	5,388,000	5,388,000	14,164,000	5,388,000	5,388,000	5,388,000	5,388,000	21,552,000	46,311,000
		予算計上額	2,864,000	3,007,000	3,171,000	9,042,000	3,438,000	3,748,000	3,964,000	11,150,000					0	20,192,000
		実 績 額	2,626,604	2,985,277	2,983,798	8,595,679	3,011,161	3,691,260		6,702,421					0	15,298,100
	事業費合計	計 画 額	2,864,000	4,867,000	2,864,000	10,595,000	3,388,000	5,388,000	5,388,000	14,164,000	5,388,000	5,388,000	5,388,000	5,388,000	21,552,000	46,311,000
		予算計上額	2,864,000	3,007,000	3,171,000	9,042,000	3,438,000	3,748,000	3,964,000	11,150,000	0	0	0	0	0	20,192,000
		実 績 額	2,626,604	2,985,277	2,983,798	8,595,679	3,011,161	3,691,260	0	6,702,421	0	0	0	0	0	15,298,100
	事業費予算の 内容	墓地清掃謝礼 需用費 通信運搬費 清掃管理委託料 器具借上料	墓地清掃謝礼 需用費 通信運搬費 清掃管理委託料 器具借上料	墓地清掃謝礼 需用費 通信運搬費 清掃管理委託料 器具借上料			墓地清掃謝礼 需用費(修繕料 含む) 通信運搬費 清掃管理委託料 器具借上料	墓地清掃謝礼 需用費(修繕料 含む) 通信運搬費 清掃管理委託料 器具借上料	墓地清掃謝礼 需用費(修繕料 含む) 通信運搬費 清掃管理委託料 器具借上料							
		前年度予算と の比較 (増減理由)		管理委託料の増 額 器具借上料の増 額	需用費・光熱水 費・管理委託 料・ 器具借上料の増 額		需用費・光熱水 費・管理委託 料・ 器具借上料の増 額	管理委託料の増 額 器具借上料の増 額	管理委託料の増 額 器具借上料の増 額							
		実績との比較 (増減理由)	清掃管理委託料 の作業数減による減	清掃管理委託料 の作業数減による減	清掃管理委託料 の作業数減による減		清掃管理委託料 の作業数減による減	修繕料の減額に よる減								

【CHECK・ACTION】

指標の推移・評価

活動指標 1（「手段」をもとに設定）															
指標名：合同墓年間収容数															
指標の求め方：合同墓へ埋葬した収容数															
成果指標 1（「成果」をもとに設定）															
指標名：墓地区画使用許可率															
指標の求め方：墓地における区画使用を許可した割合															
			第 1 次実施 3 力年計画				第 2 次実施 3 力年計画				第 3 次実施 4 力年計画				
			第 1 年次 (3年度)	第 2 年次 (4年度)	第 3 年次 (5年度)	実施 3 力年 合 計	第 4 年次 (6年度)	第 5 年次 (7年度)	第 6 年次 (8年度)	実施 3 力年 合 計	第 7 年次 (9年度)	第 8 年次 (10年度)	第 9 年次 (11年度)	第 10 年次 (12年度)	実施 4 力年 合 計
事業 評価	指標	活動指標 1 (単位/体)	計画値 50	実績値 47	50 82	50 85	50 148	50 116	50		50	50	50	50	
		成果指標 1 (単位/%)	計画値 89.2	実績値 89.5	89.3 89.7	89.4 89.7	89.5 89.7	89.6 89.3	89.7		89.9	90.0	90.2	90.3	
	評価内容	事業の達成度 (活動指標をもとに評価)				達成されている				達成されている					
		事業の成果 (成果指標をもとに評価)				変わらない				変わらない					
		事業の効率性 (事業費に対する成果)				変わらない				変わらない					
		総合評価				良好である				良好である					
			自己分析： 使用許可の件数は 予定よりも多くな っている。 施設設備の軽易な 破損の補修や支障 木の剪定については 、委託の中でシルバ ー人材センターが行 っているが、利用に 支障がないか全体的 な設備の点検を行っ ていく必要がある。	自己分析： 使用許可の件数は 予定よりも多くな っている。 施設設備の軽易な 破損の補修や支障 木の剪定については 、清掃管理委託の中 で行っているが、排 水や通路、法面など の全体的な施設の点 検を行っていく必要 がある	自己分析： 使用許可の件数は 予定よりも多くな っている。 施設設備の軽易な 破損の補修や支障 木の剪定については 、清掃管理委託の中 で行っているが、排 水や通路、法面など の全体的な施設の点 検を行っていく必要 がある	判断理由： 一般墓地区画及び 合同墓の利用者は 順調に増加しており 、良好と判断した。	自己分析： 使用許可の件数は 予定よりも多くな っている。 施設設備の軽易な 破損の補修や支障 木の剪定については 、清掃管理委託の中 で行っているが、排 水や通路、法面など の全体的な施設の点 検を行っていく必要 がある	自己分析： 使用許可の件数は 予定よりも多くな っている。 施設設備の軽易な 破損の補修や支障 木の剪定については 、清掃管理委託の中 で行っているが、排 水や通路、法面など の全体的な施設の点 検を行っていく必要 がある	自己分析： 使用許可の件数は 予定よりも多くな っている。 施設設備の軽易な 破損の補修や支障 木の剪定については 、清掃管理委託の中 で行っているが、排 水や通路、法面など の全体的な施設の点 検を行っていく必要 がある	判断理由： 一般墓地区画につ いては、墓じまいの 傾向が微増している 。合同墓の利用者数 は順調に増加してい ることから「良好で ある」と判断した。	自己分析：	自己分析：	自己分析：	自己分析：	判断理由：
		今後の方向性				現状のまま継続				現状のまま継続					
	方向性の判断理由 改善、改革の内容 (R5、R8、R10)		R5： 空き区画に繁茂した樹木が、使用に支障をきたす状態になっている 例が散見されていることから、剪定や伐採などを行い対策していく ことが必要である。				R8： 墓じまいにより空き区画が増加傾向にあり、空き区画で繁茂した草 や樹木が、使用に支障をきたす状態になっている例も増加している ことから、剪定や伐採などを行い対策していくことが必要である。				R10：				

第 7 期 総 合 計 画 事 務 事 業 進 行 管 理 調 書

【PLAN】

事務事業の目的と成果

総合戦略掲載	×	過疎計画掲載	×
--------	---	--------	---

事業名		公害防止対策事業				事業期間	— 年度 ～ — 年度								
事業性質区分	新規・継続	継続	建設・建設外	建設外	第7期総合計画の位置付け	2—2—3	他に関連する基本事業	— —	— —	— —	— —	— —	所管課係	市民生活課生活交通係	
目的 (何のために実施するのか)	公害防止のため、市内の河川の水質、自動車による騒音・交通量を調査分析し、快適な環境下での市民生活の向上を図る。							手段 (どのような方法で実現するのか)	市内における河川水、自動車騒音について、調査・分析の委託（河川水～年1回、自動車騒音～年1回）。騒音規制法、振動規制法、悪臭防止法に基づく規制地域の指定（変更）事務。法令の定めによる各種届出書の受理。公害に関する苦情の解決。						
対象 (誰・何を対象としているのか)	市内の河川及び道路（国道、道道）、市内事業者及び市民							成果 (どのような効果が得られるのか)	河川の水質や自動車騒音が環境基準と比較してどのような状況にあるかを把握し、公害関係法令の遵守による環境の保全や、公害に関する苦情を解決することにより、快適な環境下での市民生活の向上が図られる。						
事業開始時の状況・これまでの経緯		環境保全に関する調査を実施し、情報の管理及び提供が必要である。河川水の水質、自動車騒音の調査分析を実施している。行政改革では、平成17年度より水質調査箇所数の削減、自動車騒音調査を2日から1日に削減、隔年で実施していた大気汚染調査を廃止、さらに、平成20年度から委託料を5％削減している。													

【DO】

実績

(単位：円)

			第1次実施3カ年計画				第2次実施3カ年計画				第3次実施4カ年計画					第7期 総合計画計
			第1年次 (3年度)	第2年次 (4年度)	第3年次 (5年度)	実施3カ年 合計	第4年次 (6年度)	第5年次 (7年度)	第6年次 (8年度)	実施3カ年 合計	第7年次 (9年度)	第8年次 (10年度)	第9年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施4カ年 合計	
投入された事業費の推移	国	費	計 画 額			0				0					0	0
			予算計上額			0				0					0	0
			実 績 額			0				0					0	0
	道	費	計 画 額			0				0					0	0
			予算計上額			0				0					0	0
			実 績 額			0				0					0	0
	地方債		計 画 額			0				0					0	0
			予算計上額			0				0					0	0
			実 績 額			0				0					0	0
	その他		計 画 額			0				0					0	0
			予算計上額			0				0					0	0
			実 績 額			0				0					0	0
	一般財源		計 画 額	995,000	995,000	995,000	2,985,000	1,316,000	1,316,000	3,948,000	1,316,000	1,316,000	1,316,000	1,316,000	5,264,000	12,197,000
			予算計上額	995,000	995,000	995,000	2,985,000	1,316,000	1,595,000	4,844,000					0	7,829,000
			実 績 額	651,200	816,200	849,200	2,316,600	893,200	1,010,900	1,904,100					0	4,220,700
	事業費合計		計 画 額	995,000	995,000	995,000	2,985,000	1,316,000	1,316,000	3,948,000	1,316,000	1,316,000	1,316,000	1,316,000	5,264,000	12,197,000
			予算計上額	995,000	995,000	995,000	2,985,000	1,316,000	1,595,000	4,844,000	0	0	0	0	0	7,829,000
			実 績 額	651,200	816,200	849,200	2,316,600	893,200	1,010,900	1,904,100	0	0	0	0	0	4,220,700
	事業費予算の内容		13箇所水質調査 143,000円 自動車騒音常時 監視事業 852,000円	13箇所水質調査 143,000円 自動車騒音常時 監視事業 852,000円	13箇所水質調査 143,000円 自動車騒音常時 監視事業 852,000円		13箇所水質調査 143,000円 自動車騒音常時 監視事業 1,173,000円	13箇所水質調査 187,000円 自動車騒音常時 監視事業 1,408,000円	13箇所水質調査 187,000円 自動車騒音常時 監視事業 1,746,000円							
			前年度同額	前年度同額	前年度同額		自動車騒音常時 監視事業委託料の 増。	水質調査、自動 車騒音常時監視 事業委託料の 増。	自動車騒音常時 監視事業委託料の 増。							
			主に自動車騒音 常時監視事業の 入札減。 3月補正 △343千円	主に自動車騒音 常時監視事業の 入札減。 3月補正 △178千円	主に自動車騒音 常時監視事業の 入札減。 3月補正 △145千円		主に自動車騒音 常時監視事業の 入札減。 3月補正 △422千円	主に自動車騒音 常時監視事業の 入札減。 3月補正 △584千円								

【CHECK・ACTION】

指標の推移・評価

活動指標 1（「手段」をもとに設定）	指標名：公害調査箇所数	指標の求め方：調査箇所数
成果指標 1（「成果」をもとに設定）	指標名：生活公害に関する苦情	指標の求め方：苦情件数

				第1次実施3カ年計画				第2次実施3カ年計画				第3次実施4カ年計画					第7期 総合計画
				第1年次 (3年度)	第2年次 (4年度)	第3年次 (5年度)	実施3カ年 合計	第4年次 (6年度)	第5年次 (7年度)	第6年次 (8年度)	実施3カ年 合計	第7年次 (9年度)	第8年次 (10年度)	第9年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施4カ年 合計	
事業 評価	指標	活動指標 1 (単位/箇所)	計画値	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	
			実績値	17	17	17		17	17								
		成果指標 1 (単位/件)	計画値	0	0	0		0	0	0		0	0	0	0		
			実績値	2	3	0		1	0								
	評価内容	事業の達成度 (活動指標をもとに評価)					達成されている				達成されている						
		事業の成果 (成果指標をもとに評価)					あまり上がっていない				あまり上がっていない						
		事業の効率性 (事業費に対する成果)					変わらない				変わらない						
		総合評価					普通である				良好である						
			総合評価の判断理由または指標の実績値に関する自己分析	自己分析： 自動車騒音常時監視について、今回調査した区間では環境基準値を超えておらず、快適な生活環境が維持されている。今後も自動車騒音の状況を把握するとともに、警察署などとも連携し啓発活動に努めていきたい。	自己分析： 自動車騒音常時監視について、1区間において環境基準値を超える結果となったが、公安委員会に対応を要請する要請限度を超えてはいない。今後も自動車騒音の状況を把握するとともに、警察署などとも連携し啓発活動に努めていきたい。	自己分析： 自動車騒音常時監視について、今回調査した区間では環境基準値を超えておらず、快適な生活環境が維持されている。今後も自動車騒音の状況を把握するとともに、警察署などとも連携し啓発活動に努めていきたい。	判断理由： 事業の成果は自動車騒音の状況から上記のとおり評価したが、自動車騒音は要請限度を超えてはおらず、また、他の指標は計画値を満たしていることから、総合的には「普通である」と判断した。	自己分析： 自動車騒音常時監視について、今回調査した区間では環境基準値を超えておらず、快適な生活環境が維持されている。今後も自動車騒音の状況を把握するとともに、警察署などとも連携し啓発活動に努めていきたい。	自己分析： 自動車騒音常時監視について、今回調査した区間では環境基準値を超えておらず、快適な生活環境が維持されている。今後も自動車騒音の状況を把握するとともに、警察署などとも連携し啓発活動に努めていきたい。	自己分析： 自動車騒音常時監視について、今回調査した区間では環境基準値を超えておらず、快適な生活環境が維持されている。今後も自動車騒音の状況を把握するとともに、警察署などとも連携し啓発活動に努めていきたい。	判断理由： 事業の成果は自動車騒音の苦情件数が計画値の0件ではないことから上記のとおり評価したが、自動車騒音は環境基準を超えていないことから、総合的には「良好である」と判断した。	自己分析：	自己分析：	自己分析：	自己分析：	判断理由：	
		今後の方向性					現状のまま継続				現状のまま継続						
	方向性の判断理由 改善、改革の内容 (R5、R8、R10)			R5： 事業の実施方法には改善の余地がないと考えられるため、今後の方向性は「現状のまま継続」と判断した。自動車騒音常時監視において国道12号を中心に環境基準値を超えている区間があることについて、道路の改良工事が行われて騒音が軽減されていると考えられるが、今後もスピードダウンなどと呼び掛けて騒音の軽減を図ってきたい。				R8： 事業の実施方法には改善の余地がないと考えられるため、今後の方向性は「現状のまま継続」と判断した。自動車騒音常時監視において第1次実施3カ年には国道12号を中心に環境基準値を超えている区間があったが、道路の改良工事や、スピードダウンなど交通安全の啓発活動の成果もあり、環境基準を満足する結果となった。				R10：					